

令和6年  
3月

北文化小劇場 催し物ご案内

2024年  
3月

開催日	催事名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
2日 (土)	心中天の網島 ～想わばこそ～  チケット 取扱い	①15:00 ②18:30	①17:00 ②20:30	花咲(市岡) 090-8324-7754	全自由席 一般 3,000円 友の会(前売) 2,700円 高校生以下 1,000円
3日 (日)		①11:00 ②15:00	①13:00 ②17:00		
9日 (土)	The Polar Star Jazz Orchestra 7th Concert	14:00	16:00	北文化小劇場 052-910-3366	全自由席 一般 円 友の会(前売) 円 障がい者 900円 ※未就学児入場不可
24日 (日)	きらり☆キッズ スクール Presents 「きらり☆まつり」 10thスペシャルステージ	13:30	17:00	きらり☆キッズ スクール 052-982-0126 (FAX 982-0127)	無料(関係者のみ)

チケット  
取扱い …北文化小劇場にてチケット取扱い

\* 非公開の催し物や練習でのご利用等のため掲載のない催し物もございます。予めご了承ください。  
\* 催し物の時間、内容等が変更になる場合がございます。

北文化小劇場 施設利用のご案内

演奏会や舞踊会など幅広い公演にご利用いただけますので、お気軽にお問合せください。



ホール



練習室

ホール見学&各種相談承ります！

- ◆客席数 297席(椅子席237・柵席60)
- ◆舞台 間口14.5m 高さ6.0m 奥行8.2m
- ◆楽屋 2室
- ◆練習室 1室(45㎡)
- ◆駐車場 37台(図書館共用)

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]

お問い合わせ  
TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス  
名古屋市北区志賀町4丁目60-31  
地下鉄名城線「黒川」下車4番出口から北へ徒歩12分

総合建設業  
株式会社 原田工務店  
052-901-3210

広告募集中！  
掲載料1枠5,000円/年  
ご希望の方は北文化小劇場まで  
TEL 052-910-3366



あけぼの 白木  
☎0120-758-216

KAWAI  
NAGOYA  
☎:052-962-3939

清瀬 金虎  
☎052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ  
魚鉄  
☎052-911-1211





華道石田流 四代目家元 石田 巳賀先生

【華道】第3回「花に恋して～弥生」

穏やかな日ざしに、いつしか春の訪れを感じるこの頃。色とりどりの春の花が咲き始めました。桜の開花の知らせも、もうすぐです。今回は、桜の話をしていきます。

「桜前线」という言葉がありますね。天気予報で発表される桜の開花情報は、世界でも珍しいことだそうです。それだけ日本人は、「花」といえば桜を指すくらい愛してきました。

「桜」という言葉の語源は、『古事記』や『日本書紀』に登場する春の豊穡の女神様「木花開耶姫命（コノハナサクヤヒメノミコト）」からきています。神木とし、昔の人々はその満開の花の下に集って神と歌い踊り楽しむ「神楽（かぐら）」を行ってきました。今では、広くお花見として楽しまれていますね。

その花言葉は「佳人（優れた美人）」や「高潔」。ですが、「木花開耶姫命」が短命であったため、「美人薄命」という言葉も生まれてきました。

写真の作品は、八事にある「興正寺」で撮影した作品です。花材は、白い花の大島桜・ピンク色の河津桜・椿。春の訪れと一斉に命が咲く喜びを表現し生けました。桜の花びらの色は種類によって少しずつ違い、微妙な色が本当に美しいです。



最後に、松尾芭蕉の句を一句。

「さまざまの事おもひ出す桜かな」（笈の小文）

今年の思い出づくりに、まだ出会っていない桜を探しに行きたいと思っています。

花いけ  
ワンポイント

桜など木に花が咲く枝物は、水につかる部分の木の皮を削ると水がよく上がり長持ちします。

4ジャンルの伝統文化アドバイザーが伝統文化についての相談・質問にお答えします！  
メール (kita@bunka758.or.jp) に下記内容を入力の上、お気軽にお問い合わせください。



加藤条山氏(尺八)



石田巳賀氏(華道)



華房小真氏(端唄)



國分入道光雲氏(和太鼓)

- 質問するアドバイザー一名
- お名前 ○年齢 ○地域
- 地域 ○所属団体(任意)
- メールアドレス ○ご質問内容



The Polar Star Jazz Orchestra演奏情報

北区の春の風物詩「黒川友禅流し」にThe Polar Star Jazz Orchestraが出演決定！  
黒川沿いの桜に囲まれ、川面に浮かんだステージで演奏します。  
オープニングでの演奏になりますので、お見逃しなく！

日 時：令和6年3月30日(土) 10:00~11:30  
※10:00~10:20ごろのオープニングにて出演予定  
※雨天の場合は翌日順延となりますが、その場合は出演しません。  
会 場：辻栄橋付近



過去の演奏の様子

快適以上を、世の中へ。



広告募集中！

掲載料1枠50,000円／年  
ご希望の方は北文化小劇場まで  
TEL 052-910-3366

第11回 「スリル・ミー」

前回、話題にした2人芝居ミュージカル。実は、私が初めて知った2人芝居ミュージカルは「スリル・ミー」という作品でした。しかし、存在を知った2021年には、気になっていたもののなかなか観劇する機会が訪れず、また2023年に再演があったにも関わらず、日程の都合で観劇することができませんでした。悔しく思っていたら、その願いが通じたのか、今回は初めての配信上演があり、念願叶って観劇することができました。



実際の誘拐殺人事件を基にした物語。演者2人とピアノだけで紡ぎだされる空間は、画面越しでも、ピリつく緊張感が伝わってきました。その緊張感は拍手を挟む間がないくらいで、ミュージカルというよりもストレートな芝居に近い印象を受けました。出演者は、3組のペア。ピアノの伴奏者もペアごとに固定されており、それぞれのペアによって、曲やセリフのテンポもまったく異なるものとなっていました。結果として2人の関係性もまったく印象の違うものとなっていたので、これがこの作品の面白いところのひとつでしたね。

ちなみに、どれくらい印象が変わったか。羅列しだすとキリがないのですが、2つ例を挙げてみます。この作品では、“私”と“彼”の2人が出てくるのですが、一番印象が違ったのは、その2人の対等性です。Aのペアでは、明らかに彼の方が強く、理不尽とまで思うくらいでしたが、Bのペアでは比較的対等な関係でお互い思いあっている様子が見てとれました。Cのペアについては、お互いがお互いに依存している感じでした。

もう一つの印象の違いは、“彼”の変化の仕方です。序盤、飄々としている“彼”ですが、想定外のことが続いて段々と崩れていきます。その崩れ方が、人により違ったのです。序盤で「エリート然と余裕な立ち振る舞い」をしていた“彼”は「凡人っぽさ」が出てきた印象でした。「コンプレックスの裏返しで強がっている」ように見えた“彼”は、「こんなはずではなかったと憤っている」印象が強く残りました。「2人である時に”私”を突き放している」ように見えた“彼”は、「信じていたことが裏切られた絶望」が強く見えました。このようにキャラクターから全然違って見えたので、まったく同じ物語を見ているはずなのに、別々の3作品を見ているような満足感がありました。

出演者がたった2人であることで、それぞれの役者の個性や思いがダイレクトに影響しているからか、まったく飽きずに全ペアを観劇することができ、非常に楽しかったです。ちなみに、同じペアだとしても、日によって印象が変わるそうなので、「何回でも見たい作品」という感想と、リピーターが多いという事実にも、納得しました。リピーターが多い作品にも関わらず、比較的小さな劇場で開催しているの、チケットは激戦だそうですが、もし見る機会があったら、ぜひ複数公演見てください。「舞台はナマモノで、まったく同じ舞台は二度とない」ということを実感できるかもしれません。

所作磨きを行いました

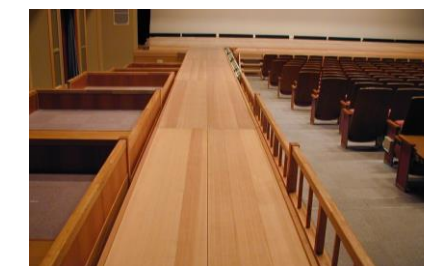
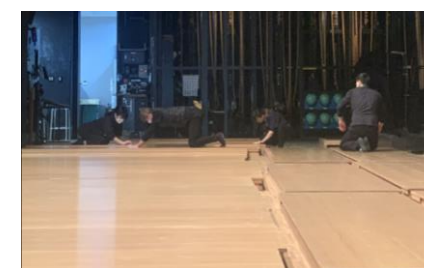
1月某日、ホールの空き日を利用して「所作磨き」を行いました。所作磨きはその名の通り、舞台物品である所作台を磨くメンテナンス作業のことです。

所作台とは歌舞伎や日本舞踊の際に舞台に敷く檜材の台のことで、滑らかで足の運びが良く、足拍子の響きを引き立てる工夫がされています。土足はもちろんのこと、裸足や靴下着用もNGで、足袋を履かなければ乗ることができません。

北文化小劇場は花道があるという特徴から日本舞踊のご利用も多く、所作台もよく使用されています。

そんな所作台の手入れには何を使用すると思いますか？・・・正解は豆乳・おから・片栗粉です。温めた豆乳をタオルにつけて拭くことで汚れや脂をとり、おからを詰めた袋を豆乳につけて磨くことで艶を出します。最後に片栗粉を振って拭き上げることですべりを良くすることができます。他にも米ぬかや米のとぎ汁を使用する場合があります。

職員の翌日の筋肉痛と引き換えに、力と心を込めて磨き上げました。利用者の皆さまに気持ち良くご利用いただけるよう、引き続き丁寧な管理を心がけてまいります！



花道用の所作台もあります

